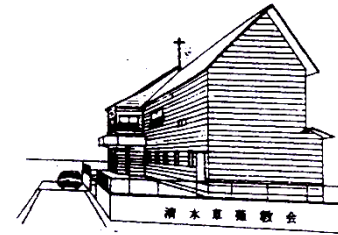


《今朝の聖書から》教会に行っていない人でも“ユダ”という名前はよく知っているようです。“裏切り者”そのような存在をいっている言葉のようです。“私は反対だ”とはっきり敵対する存在はよく分かりますが、身内から翻って反対するような存在を、この言葉は表しています。途中までは目的を同じくし、仲間だと思っていた人に裏切られることは、筋書きとしてはよく分かることです。日本でも平家物語に“頭は猿、体は狸、尾は蛇、脚は虎に似た怪物”が出てきますが、それに似た、“何か隠し事はあるらしいがそれが何なのかはよく分からない”そんな人のような意味でしょう。先週は、ラザロのよみがえりに臨まれ、死に打ち勝たれたイエス様の姿と戦いについてみましたが、今朝は、“偽り者のユダ”に起こった出来事を通して、これもまた人間の罪である“偽りと裏切り”について、そしてこの罪にも勝利をおさめられたイエス様の姿をみましょう。“ウソをつくのは泥棒の始まり”といいますが、泥棒どころか、嘘が、その人を打ちのめして殺してしまうことだっていることは、よく知っています。何か不利益があると思ったり、恥ずかしいと思ったり、やがては裏切りにつながる偽りを行うのが私たちなのです。そのことを取り繕うのが“ウソも方便”という処世術ではないでしょうか。ユダはこの処世術には、実に敏感な人物でした。けれどもユダの心は決して平安なものだったり、成功観に満ちているものではありませんでした。“私は今ウソをついている”と思った時、私たちの心は決して平穏なものでないのと同じです。しかもその頂点に立っていたのです。これは十字架を目前にした木曜日の出来事でした。“洗足の木曜日”として記念されている出来事です。ユダは一番みじめな、寂しい生き方を選んでしまいました（選ばされてしまいました）。先週“死”に打ち勝たれたイエス様について聖書から学びましたが、今朝は、人々が時として陥る一番みじめな姿にまで、降りて来てくださって、全ての罪科を身に負うことによって勝利をおさめ、全世界を贖われ、偽りの世界から、救いの世界への道を示してくださったイエス様の道に希望を見出したいと思えます。“私はすでに世に勝っている（ヨハネ16：33）”、“死んでも生きる（ヨハネ11：25）”というみ言葉を信じ、惨めで悲しい生き方を避け、この方に頼りましょう。

週報

2008年 10月 12日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上定幸

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル公会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp